

フォーラム「交通をテーマにした公民教育～クルマ社会を考える～」

主催：(財) 計量計画研究所

1. 学校教育におけるモビリティ・マネジメントに関する研究

学校教育における交通学習（モビリティ・マネジメント学習）は、ここ数年で取り組み事例が増えています。現在は熱心な教諭と土木研究者の間でのみ進められている状況です。IBSは学校教育で交通学習を広く進めていくため、自主研究プロジェクトを立ち上げ、次の内容について検討を進めています。

①学校教育におけるモビリティ・マネジメントの実現に向けた制度設計の検討

- ・ 広く学校教育で実施されるための方法、進め方
- ・ 関係機関への働きかけ方

②学校教育におけるモビリティ・マネジメントのコンテンツ検討

- ・ 学校教育サイドに受け入れられやすい授業内容のつくり方
- ・ 対象学年、教科と授業のテーマや進め方、教材のあり方、実施する上での留意点など

本自主研究は、藤井聡（東京工業大学大学院）、谷口綾子（筑波大学大学院）、高橋勝美（IBS交通まちづくり研究室）、須永大介（IBS交通まちづくり研究室）、平見憲司（IBS交通まちづくり研究室）、大塚裕子（IBS言語情報研究室）、丸元聡子（IBS

言語情報研究室）、溝口秀勝（IBSPI研究室）の所内外の8名で進めています。

2. フォーラムの実施

本研究を進めるにあたり、土木関係者だけではなく、教育関係者を含めた幅広い分野の専門家と討議する機会を設け、交通学習の推進方策検討の一助とすることを目的としてフォーラム「交通をテーマにした公民教育～クルマ社会を考える～」を開催しています。学校関係者や研究者、実務者などをゲストとしてお招きし、話題提供の講演を頂いた後、参加者全員で討議を行っています。

平成18年度は、表1に示すとおり、計4回のフォーラムを実施しました。



図1 第1回フォーラムの様子

表1 フォーラムの概要

	テーマ	講師
第1回 平成18年7月4日	学校教育における交通学習の意義と推進について	国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長 工藤 文三 氏
第2回 平成18年9月7日	学校教育における交通安全教育の進め方	(財)日本交通安全教育普及協会 教育推進室長 石毛 昭治 氏
第3回 平成18年11月10日	市民科における市民的資質の育成	お茶の水女子大学附属小学校 市民科教諭 佐藤 孔美 氏
第4回 平成19年2月16日	中部地方整備局における学校教育支援業務について	国土交通省中部地方整備局 企画部技術企画官 松永 康司 氏

(交通まちづくり研究室 高橋 勝美)